

H25. Step 1

平成25年度新・リンパ浮腫基本講演会小テスト(Step1) 設問・回答・解説

設問		選択肢
1	血漿膠質浸透圧が下がるためにおこる浮腫はどれか？ ①～③の中から1つ選びなさい。	1 肺原性浮腫 2 栄養障害性浮腫 3 心性浮腫
2	以下のうち常に糸と平滑筋を持つのはどれか？ ①～④の中から1つ選びなさい。	1 毛細リンパ管 2 樹集合管 3 集合管
3	リンパ系の役割として誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1. 過剰な組織間液の排出 2 食物由来の抗原の輸送 3 赤血球の破壊 4 免疫応答の遂行
4	リンパ液の主な発生源メカニズムとして誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 心臓ポンプ機能 2 骨格筋ポンプ作用 3 呼吸ポンプ作用 4 消化管運動
5	血漿タンパク質が減少することによって発生する浮腫で正しい病態はどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 リンパ浮腫 2 心不全 3 アナフィラキシーショック 4 ネフローゼ症候群
6	リンパ浮腫の診断について正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 超音波診断が簡便で有用である。 2 静脈造影検査が確定診断となる。 3 両側性が多い。 4 乳癌術後、子宮癌術後など二次性リンパ浮腫は少ない。 5 主に皮下組織が腫脹する。
7	浮腫に関する記述で、正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 浮腫は浸透で診断する。 2 浮腫とは細胞間隙に液体が溜まった状態である。 3 心臓病では低アルブミン血症となり、浮腫が生じる。 4 深部静脈血栓が出来ると、浮腫が生じる。 5 超音波検査で、浮腫の有無は判定できない。
8	リンパ浮腫の保存的治療について正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 患肢の草上は保存治療の基本である。 2 長期管理は標準化された画一的な方法が望ましい。 3 初期管理は常に弾性着衣の装着が望ましい 4 保存治療はスキンケア、用手的リンパドレナージ、圧迫療法、圧低下での運動療法の4つ の指針法を行う。
9	リンパ浮腫指導管理料が算定できる状況について正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 該当するがんの手術前にリンパ浮腫について説明したが、予定されていた手術が行えなかった。 2 該当するがんの手術1年後にリンパ浮腫が発症したため、リンパ浮腫について説明した。 3 該当するがんの手術後、複数の入院患者を一度に集め、指導を行った。 4 該当するがんの手術後、複数の外来患者を一度に集め、指導を行った。
10	リンパ浮腫予防のための日常生活の留意点について正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 右腕高リンパ腫術後を伴う手術を受けた患者には、右手で重い物を決して持たないよう指導する。 2 乳がんの手術でセンチネルリンパ節生検を受けた者は、リンパ浮腫予防のための日常生活の留意点を継続する必要はない。 3 骨盤内リンパ節切除を伴う手術を受けた患者がガーゼニングを行う時は、手術を重用することが好ま しい。 4 青盤内リンパ節切除を伴う手術を受けた患者は両下肢のスキンケアをすることが重要である。

平成25年度新・リンパ浮腫基本講演会小テスト(Step1) 設問・回答・解説

11	次の①～④の中から正しいものを1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 浸透性リンパ浮腫に比べて、原発性リンパ浮腫の方が早期発症が容易である。 2 リンパ浮腫の症状をコントロールするためには、早期診断・早期治療が重要である。 3 右乳癌手術後にリンパ浮腫を早期発見するためには、両側上肢の周径値を毎日測定することが絶対に必要である。 4 両首肢検査は、車輪で早期のリンパ浮腫でも検出可能である。
12	次の①～④のリンパ浮腫に関する記述の中から正しいものを1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 リンパ浮腫の発症を遅延しても、左右の周径差が2cmを超えるまで治療する必要はない。 2 左乳癌手術後に、毎日左腕を結ぶことはリンパ浮腫の早期発見につながる可能性がある。 3 乳がんの手術後にリンパドレナージを十分行えば、確実にリンパ浮腫を予防できる。 4 リンパ浮腫の代償的な合併症は静脈血栓症であるが、血栓の悪性腫瘍もリンパドレナージを十分行う必要がある。
13	リンパ浮腫の治療選択に関する記述の中から正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 上肢リンパ浮腫は発症早期でも弾性包帯で強めに圧迫することが有効である。 2 大腿部・下腹部で夜間の強い重圧下肢リンパ浮腫では、必ずはじめにオーダーメイドの弾性ストッキングを作成して圧迫する。 3 高齢者は圧迫療法が有効であり、圧迫力が強くサイズの小さい弾性着衣が重要である。 4 患者本人が行うリンパドレナージは、浮腫を改善させる効果は少ないが、症状の悪化を本人が確認するためには有効なことがある。
14	圧迫療法について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 効果を出すために就寝時にも弾性着衣の着用を勧める。 2 浮腫を軽減させるためには弾性着衣より弾性包帯が適している。 3 自分で着脱可能であれば、実際の計測値より小さいサイズの弾性着衣を選んでよい。 4 早く脱くため、軽度の浮腫であっても弾性包帯を使用する。
15	弾性着衣について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 着けにくい弾性着衣は引っ張って履くとよい。 2 サイズは計算や平算の周径値を基準に決める。 3 弾性着衣を選ぶ際は、軽度の浮腫では平算のみを選択することが多い。 4 着用時、違和感や痛みがあっても、我慢できる範囲であればそのまま着け続けてよい。
16	MLDとSLDについて、誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 MLDとは近位から遠位へと順に皮膚をすらすらすのが基本である 2 MLDとは滑っている顔面液を排液することを目的としている 3 SLDとはSelf Lymphatic drainageの略である 4 SLDとは患者自身が自宅でも治療を行えるように指導する介入方法である
17	肥満について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 BMIでは30以上が肥満である。 2 30歳以上の男性では、体脂肪率が30%以上が肥満の目安である。 3 30歳以上の女性では、体脂肪率が30%以上が肥満の目安である。 4 体脂肪率はインピンダンス法を用いる事で正確に測定できる。
18	肥満に対する運動について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 有酸素運動は、1回15分から30分程度行う。 2 20分の歩行は、3エクササイズに相当する。 3 筋力増強運動では、小さい(弱い)筋群を鍛える。 4 筋力増強運動では、代割が低下する。
19	浮腫に対する運動について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 低強度運動は禁忌である。 2 静的な運動よりも動的な運動が良い。 3 弾性包帯を巻いたまま運動を行ってはいけない。 4 運動を行うのが辛い場合は、1日に1度だけにする。
20	チーム連携のポイントについて、誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<ol style="list-style-type: none"> 1 リンパ浮腫の予防・早期発見・治療が前提となるチームレスな流れ・仕組みを存することが重要である 2 病内の医師・コメディカルの連携だけでなく、地域連携も重要なポイントとなる。 3 医師、リハ療法士、看護員など関係スタッフ参加の多職種カンファレンスを開催し、知識や技術の向上、意識の標準化を図る。 4 専門性の高い分野の為、多くの職種が関わるよりは関連部署を絞り緊密に連携する方が治療方針の決定がスムーズである。

H25. Step 1

平成 25 年度新・リンパ浮腫基本講演会小テスト (step1)

解答および解説 問 1～問 10

回答	正解と解説等
✓	【正解】 正しい
✓	【正解】 正しい
✓	【正解】誤り、リンパ流に赤血球は含まれない、主に弾腫。 正しい
✓	【正解】誤り、心拍出はリンパ流には直接的な影響は少ない。 正しい 正しい 正しい
	誤り、リンパ還流障害による 誤り、静脈圧の上昇による 誤り、毛細血管壁透過性亢進による
✓	【正解】
✓	【正解】
✓	【正解】 浮腫の判定には、触診も必要である。 【正解】 心臓病では、主に静脈圧の上昇に由来する浮腫が生じる。 深部静脈血後の出来る前位により、浮腫が生じないことがある。下腿では、生じない。 超音波検査で、浮腫の判定は可能である。
✓	【正解】 患者毎に継続可能な方法が望ましく、同一患者でもライフステージや症状によって変える必要がある 切開管理は基本パスに準じて行う事が望ましい 専門技術のみならず「統合的治療」に上げられる方法を組み合わせて行われる 誤り、術前に説明しても、予定された該当手術が行われなかった場合は算定できない。 誤り、リンパ浮腫治療管理料の算定要件においては、説明時期が手術前後1ヶ月以内と限られている 誤り、入院中における措置においては、個別に行う必要がある。 【正解】
✓	誤り、患部上肢で重い物を決して持たないようという指導は現実的ではない。 誤り、乳がんのセンチネルリンパ節生検後でも、上肢リンパ浮腫の発症可能性がある。 誤り、骨盤内リンパ節摘出を伴う手術を受けた患者は、下肢の感染に注意する。 【正解】

解答および解説 問 11～問 20

✓	【正解】 誤り。常に圧がかかるため、就寝時に使用すると痛みやしびれを引き起こすことがある。よって夜間使用は勧めない。
✓	【正解】 誤り。弾性包帯は浮腫軽減、弾性着衣は維持を目的として使用する。 誤り。弾性値に合っていないものを使用すると、食い込みが起きやすいため、弾性値にあったサイズのものを選ぶ。 誤り。鞋底の浮腫の場合、弾性着衣が第一選択となる。
✓	【正解】 誤り。引っ張って履くと弾性着衣が伸びてしまい、適切な圧が期待できなくなるため、段階的に履きあげていく。 【正解】正しい 誤り。平靴のみは底面圧が合わない入向け。踵底面を履き、第一選択は丸履みが多い。 誤り。原則として違和感や痛みがあれば、我慢せず早期に外すようにする。
	正しい 正しい
✓	【誤り】SLDとはSimple Lymphatic drainageの略である。 正しい
	誤り。B級では25以上が肥満である。 誤り。30歳以上の男性では、体脂肪率は25以上が肥満の目安である。
✓	【正解】 誤り。体脂肪率の正確な測定は困難である。
✓	【正解】 誤り。20分の歩行は1エクササイズに相当する。 誤り。無酸素運動では、大きい（強い）筋群を使う。 誤り。筋力増強運動は、代謝をあげる。 誤り。抵抗運動で強度が増強するという研究報告はない。
✓	【正解】 誤り。弾性包帯を巻いたままでも運動を行う事は可能である。 誤り。運動を行うのが早い場合は、朝間に林巻を入れながら（1日の中で回数を分けて）行う 正しい。リンパ浮腫の発症や重症化を予防するためにも、発症を促進していない時期からリンパ運動を促したり報告しないようにしたりする指導や、早期発見・早期治療の重要性がスウェーデンになるようなシュームレスな流れ・仕組みを作ることは重要である。 正しい。増強運動パスに基づいた増強運動も重要である。
✓	正しい。 【正解】リンパ浮腫はあらゆる年齢・生活背景においても生じうるが、多職種が各職種の専門性を活かしたシュームレスな連携を行う た方が治療効果を増強しやすい。